

第4回 仁淀川流域学識者会議

第1回仁淀川水系河川整備計画の 点検概要について

平成27年1月28日

国土交通省 四国地方整備局
高 知 県

第1回仁淀川水系河川整備計画の点検概要について

第4回 仁淀川流域学識者会議の進め方

1) 第2回 仁淀川水系河川整備計画の点検について

① 第1回仁淀川水系河川整備計画の点検概要について 資料-4

⇒ 第1回点検の概要、報告内容、まとめ

② 日下川の内水対策について 資料-5

- ・ 浸水被害の検証について ⇒ 日下川の浸水被害の検証・要因分析
- ・ 対策の考え方について ⇒ 日下川の内水対策の考え方、方針、対策案
- ・ 対策の内容検討について(計画段階評価) ⇒ 国の対策案における計画段階評価

③ 宇治川の内水対策について 資料-6

- ・ 浸水被害の検証について ⇒ 宇治川の浸水被害の検証・要因分析
- ・ 内水対策の考え方について ⇒ 宇治川の内水対策の考え方、方針、対策案
- ・ 対策の内容検討について(計画段階評価) ⇒ 国の対策案における計画段階評価

④ 第2回仁淀川水系河川整備計画の点検結果について 資料-7

⇒ 現行の河川整備計画における日下川、宇治川の内水対策等の位置付け
⇒ 現行の河川整備計画の課題
⇒ 今後について

2) 今後の予定について

第1回仁淀川水系河川整備計画の点検概要について

【第3回仁淀川流域学識者会議 平成26年12月18日】

概要

- 平成26年8月に発生した台風12号及び11号における、仁淀川下流域を中心とした甚大な浸水被害を踏まえ、「河川整備計画の点検」を実施
- 平成26年12月18日「第3回仁淀川流域学識者会議」を開催、点検内容を説明し委員の方々から意見を伺った（委員9名中8名出席）

点検の主な内容

- 洪水被害は引き続き発生しており、治水に関する河川整備を継続して実施
- 平成26年8月台風12号による日下川、宇治川の浸水被害は甚大なものであり、「仁淀川水系河川整備計画」に基づき、国・高知県及び関係自治体により、再度災害防止に向けた対策案の早急な検討が必要
- 河川整備計画に定められた利水に関する河川整備を継続して実施することが必要
- 河川整備計画に定められた河川環境に関する河川整備を継続して実施することが必要

議長からのまとめ

- 台風12号の浸水被害を受けて具体的な対策案を早急に検討する必要があることを了解
- 検討の実施に当たっては、河川整備計画の変更の必要性も含め浸水被害を検証し、発生要因を把握した上で、国、高知県、関係自治体が連携の上、必要な対策を検討することで了解

委員の方々からの主な意見

- 検討に当たっては、現在の解析技術によりシミュレーションを行いながら定量的に評価することが重要（資料-5 p10、資料-6 p10参照）
- ハード面の整備をどこまで実施するか見極めが重要（資料-5 p8、資料-6 p8 参照）
- ハード対策とソフト対策を適切に組み合わせることが重要（資料-5 p9、資料-6 p9 参照）
- 宇治川は、今までの対策では不十分ではないか（資料-5 p8～9、資料-6 p8～9 参照）
- 日下川の湿地を活用した対策も考えられるのでは（資料-5 p17～19 参照）
- 治水対策を行うにあたって、利水面(地下水の変化)にも配慮してほしい